



 WENZEL

小型寸法計測用X線CT装置 exaCT S 130

CT検査を現場で手軽に



シーケービー
技術部 係長

骨谷 友貴氏

製造業で寸法計測用のX線コンピューター断層撮影(CT)装置の市場が拡大しています。一般にX線CT装置では、非破壊でワークの外部や表面だけでなく、内部構造を3次元(D)データとして取得できます。近年は3Dプリンターの造形物とダイカスト部品などの内部に生じる空洞(ボイド)の解析や、組み立て後の製品内部の寸法計測、CADモデルとの照合評価などで需要が高まりました。一方、X線の測定範囲が大きいと放射線管理区域の設定や作業者の資格が必要で中、大型の装置が多く、高価なものも導入の障壁です。

そこでお薦めなのが、WENZEL(ヴェンツェル)の小型寸法計測用X線CT装置「exa(エグザ)CT S 130」です。小型で軽量なため、卓上に設置でき、導入コストも抑えられます。放射線管理区域が測定器の内部に限定されるため、作業者に「エックス線作業主任者資格」が要らず、生産現場でも使えます。

専用の制御ソフトウェアや評価ソフトを使えば、ワークのCADモデルと測定結果を照合し、差異に色を付けるカラーマッピング解析も容易にでき、評価の幅が広がります。当社では昨年8月に本社1階に開設した「Shibuya Technical Office(シブヤ・テクニカル・オフィス)」に同装置を設置しており、秘密保持が必要なワークも国内でテスト測定や評価を完結できます。WENZELでは他にも、中、大型モデルの「CT-L」や「CT-U」をラインアップしています。



特徴

小型寸法計測用X線CT装置「exaCT S 130」は、小型かつ軽量なモデル。重量は380kg、設置面積は幅890×奥行き635mmで、ワークは直径80×高さ36mmまで測定でき、樹脂から鉄や銅素材まで幅広いワークを計測できる。X線の透過しやすさを左右する管電圧は最大130kV、X線の出力は同39Wと共に高い。

問い合わせ先

株式会社シーケービー

〒150-0002
東京都渋谷区渋谷2-10-6
山田青山ビル
TEL 03-3498-2131

